令和5年7月発行［第22号］

# 木もれ陽

グループホーム こまば

## ご利用者の「今」に焦点を

### 相良ホーム長の ご利用者ファースト

**利用者に合わせてホーム自体が変わるべし**

　ホームの環境も職員も常に利用者に合わせて変化しなければいけません。
ご利用者は認知症で今までわかっていた事がわからなくなって困っているので、こちらが認知症の方に合わせなければいけないのです。

　以前、ペーパータオルでお尻を拭いてしまう方がいました。それは、認知症で物の区別が付かないのに、おしりを拭く紙と手を拭く紙の２つの紙があった事が原因です。
どっちを使って良いかが分からなくなっていたのだと思います。そこで、手を拭くのは普通のタオルに変えました。
その結果、ちゃんとトイレットペーパーでお尻を拭けるようになりました。認知症の方の特徴に合わせてホームの環境を変えていく事で安心して生活できるのです。

　職員も同様にご利用者に合わせて変わるべきです。
あるご利用者さんは、以前は調理も洗濯も何でもできる方でした。
しかし、認知症が進行したことで閉じ籠もってしまいました。何でも出来た以前の自分のイメージと今の自分とのギャップに苦しんでいたのだと思います。
そこで「今できること」に焦点を当てて関わることにしました。調理やカットができなくなっても、盛り付けは今でもできます。盛り付けをしている間はとても充実しているように感じました。
　以前のイメージに合わせるのではなく、「今」できることに焦点を合わせる事が大切なのです。そうする事で、いつまでも活躍し続けられるのです。だからこそ、私達職員は、常にご利用者の「今」を観て、今できることを最大限活かす関わりをするべきだと思います。
　利用者の「今」を評価する為に、ホームでは、職員会議を大切にしています。会議では、毎月ご利用者全員のケアを考察して実践しています。

**今持てる力で生き生きと生活している姿をご紹介します！**

▲味付けは難しくなっても胡瓜のカットはまだまだできます！

▲ピアノを弾いたり、教えたりしています！

▲歌好きの方。YouTube でカラオケを楽しんでいます！

▼よく買い物に行っていた方。歩けなくなっても外出はしています！

▲座ったままで洗濯物も干します！

▲家庭で行っていた園芸。ホームでも！

▲好きな時間に一人で玄関に出て落ち葉拾いをします！

▼食材を見て、何を作るかを考えてもらいます！

◀家で「天声人語」を書き写す習慣があった方。ホームでも継続しています！

起床する際、少しだけ背もたれなしで座る練習しています！▶

グループホーム こまば

# 木もれ陽

第 22 号

東京都目黒区大橋２－１９－１　　TEL 03-3466-6600

## 生け花の先生

小原流の生け花の先生が入居されています。

そこで、職員が月に ２ 回先生に生け花を教わることにしました。
教える姿は凛としていました！

## 美容院

入居前から利用してた美容院に行ってきました。
ヘアカットして髪染めもしてもらって綺麗になりました。
素敵になって心もウキウキです！

## 居室担当者と一緒に

職員にはそれぞれ担当のご利用者さんがいます。その方のケアを考えたり、特性に合わせて色々な関りをしています。

駒場の公園の旧前田侯爵邸まで散歩したり、駅の近くの喫茶店に出かけたりしました。

## ハーモニカボラ復活！

コロナ前には毎月来てくださっていたハーモニカの黒岩さん。
３ 年ぶりに活動再開して頂きました。
おしゃべりしたり、ハーモニカに合わせて歌ったり、やっとまた楽しい時間を持てるようになって嬉しいです！

## こまば食堂

５月のこまば食堂は餅つきを行いました！
ご家族や地域の方も交えて、みんなでお餅をついて丸めて食べました！
７月は素麺とスイカ割りです
（奇数月の第二土曜開催）

苑長と娘さんも参加

## 収　穫

バルコニーで野菜を育てています。
今年も胡瓜が豊作です！
採れたて野菜の
美味しさは
格別です！
みんなで美味しく
頂いています。

## バルコニーでランチ

さわやかな季節には
ランチタイムをバルコニーで。
心地よい風に吹かれて食が
進みます。
そしておしゃべりにも花が
咲きます！